

令和7年度 入学式式辞

桜の花びらが、そよ風に運ばれ、春の息吹に、心やわらぐ季節となりました。

令和7年度入学式を、袋井市副市長大河原幸夫様、PTA会長様、教育振興会長様、学校運営協議会委員の皆様の御臨席を賜り、そして多くの保護者の皆様の御列席の下、挙行できますことを心より感謝申し上げます。

51年目を迎える袋井南中学校、156名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。ただ今、担任の先生から一人ひとりの名前を呼ばれ、しっかりと返事をした姿に、「今日から袋井南中の生徒として頑張るぞ」という意気込みを感じました。

中学校は、卒業までの3年間で、自分の可能性としっかり向き合い、将来の在り方、生き方、進むべき道を模索していく場所です。そして、夢や希望を実現するための確かな第一歩を踏み出すために、小学校6年間で身に付けてきた様々な力をさらに伸ばし、高めていくところです。

私たち教職員も、そして皆さんの先輩も皆さんを心から歓迎しています。本校での3年間で充実したものになるよう、みんなで応援します。一緒に素晴らしい時間を過ごしていきましょう。

さて、今日から南中生となる新入生の皆さんに、南中が目指す生徒の姿について話します。

南中では「ウェルビーイングの向上」を目指して教育活動を行っています。「ウェルビーイング」という言葉を聞いたことがありますか。英語の well(よい)と being(状態)からなる言葉。「心と体が健康で、幸せや生きがいを感じられる状態」と日本語で訳されています。この1年間、皆さんが、心も体も健康で、幸せや生きがいを感じて生活することはもちろん、皆さん自身の言葉や行動で、自分以外の他者や家族、そして自分が住んでいる地域や社会にも幸せを与えられる人になる。それが、南中が目指す生徒の姿「ウェルビーイングの向上」です。

では、どうすればウェルビーイングの向上を実現できると思いますか。今から皆さんにウェルビーイングの向上を実現するための魔法のキーワードを4つ教えます。

キーワードの1つめは「やってみよう」です。「やってみよう」は、夢や目標を持ち、その実現に向けて、わくわくしながら自分から頑張ろうとする姿勢のことで

す。「本当になりたい自分」をめざして成長していくとき、人は幸せを感じることができます。

キーワードの2つめは「なんとかなる」です。「なんとかなる」は、「自分のよいところも悪いところも受け入れる」という前向きな気持ち、そして「どんなことがあっても何とかなるだろう」と感じる楽観的な気持ちを持つことです。この前向きさと楽観性をもっている人は幸せを感じやすいと言われています。

キーワードの3つめは「ありのまま」です。「ありのまま」は自分の軸をぶらさず、人目を気にせず、自分らしく生きていくことです。他人と自分を比べすぎず、自分らしさ生かして生きる人は、そうでない人に比べて多くの幸せを感じることができます。

最後、キーワードの4つめは「ありがとう」です。「ありがとう」は友達や家族、地域の方々など、様々な人とつながりを持ち、人を喜ばせたり、人に親切にしたり、感謝したりすることです。人を幸せにしようとするれば、自分も幸せになることができます。

「やってみよう」「なんとかなる」「ありのまま」「ありがとう」、どうですか。魔法のキーワードは覚えられましたか。この4つのキーワードは、これからの学校生活の中で、何度も出てきます。みなさんも今日からこの4つのキーワードを意識して、ウエルビーイングな自分、そしてウエルビーイングな学校、地域を先生方や家族とともにつくっていきましょう。

保護者の皆様、本日はお子様の入学、まことにおめでとうございます。お子様の制服姿に、中学生になったという感慨とともに、今後の健やかな成長を願う気持ちを新たにされていることと存じます。子供の元気の源は家族。子供の心の安定の源は家族です。子供たちを信じて温かく見守り、支えていただきたいと思います。もとより、学校教育は家庭教育の基盤の上に成り立っております。様々な面での本校へのお力添えをよろしくお願い致します。私ども教職員一同、お子様のより良い成長に向けて全力を尽くして参ります。

今、新入生の皆さんの瞳は、きらきらと輝き、未来に向いています。その輝きに、大きな希望と強い決意を感じ、嬉しく思います。今の感激や、初心を忘れず、中学校生活を元気よくスタートさせましょう。

以上、式辞といたします。

令和7年4月7日 袋井市立袋井南中学校長 中村佳央